

News Letter

2006年7月26日

国際公共経済学会事務局発行

国際公共経済学会 News Letter No.53

〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20

東洋大学経済学部 松原聡研究室内

Te l& Fax 03-3945-7415

E-mail: japan@ciriec.com

1. 第21回研究大会のお知らせ

国際公共経済学会第21回大会は、12月2日(土)3日(日)の両日、大東文化大学・板橋キャンパスにおいて開催されることとなりました。

本大会では、「人口減少時代の社会経済システム - 国際的視点を念頭に - 」としてプログラムを構成しますので、こぞってご参加くださいますようお願い申し上げます。

大会プログラムとして、下記の共通論題などを設けますので、報告をご希望の方は積極的にご応募ください。(下記「6. 報告募集」を参照。)

プログラム案が確定し次第、報告予定者には報告要旨提出(10月31日)の書式等、あらためてご通知申し上げます。

第21回研究大会実行委員長 植野一芳

1. 日程 2006年12月2日(土)3日(日)

2. 会場 大東文化大学・板橋キャンパス

〒175-8571 東京都板橋区高島平1-9-1

TEL.03-5399-7356(環境創造学科事務室)

FAX.03-5399-7355(環境創造学科事務室)

E-mail: ueno@ic.daito.ac.jp

3. 実行委員会体制

実行委員会委員長 植野一芳(大東文化大学/学会理事)

実行委員会副委員長 内藤二郎(大東文化大学/学会理事)

実行委員 篠原 章(大東文化大学/学会理事)

実行委員 塚本正文(大東文化大学)

実行委員 松原 聡(東洋大学/学会事務局長)

実行委員 穴山悌三(東京電力株/学会理事)

実行委員 田端和彦(兵庫大学/学会理事)

4. 大会テーマ

「人口減少時代の社会経済システム - 国際的視点を念頭に - 」

5. 大会趣旨

昨年 2005 年、日本の人口が戦後初めて減少に転じました。いわゆる人口減少時代の幕開けです。国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、今後も少子高齢化傾向に歯止めがかからず、人口減少のペースは徐々に加速していくと予想されています。

こうした状況下、社会・経済へのマイナス影響が懸念されています。年金・医療・介護といった社会保障分野における従来制度の問題はもちろん、人口規模すなわち国内市場規模の縮小が多くの産業の経営環境を変化させてしまうからです。

今回の大会では、このような国内の状況を前提とした議論に加えて、グローバル化の進展に伴う国際的な視点の重要性にも注目していきます。例えば、国連の人口抑制策、中国における 1 人っ子政策、人口減少に伴う移民政策、人口減少と国際競争力などの論点を踏まえつつ、人口減少時代に相応しい社会経済システムの在り方について本格的な議論を展開していきたいと考えています。

6. 報告募集

- (1) 共通論題「人口減少時代の社会経済システム -国際的視点を念頭に-」
12月2日(土) 10:00~12:30
- (2) 自由論題
12月3日(日) 10:00~12:30、 13:30~16:00
- (3) 大学院生セッション
12月3日(日) 10:00~12:30

報告を希望される方は、**9月9日(土)までに**、同封の報告の申し込み書にて電子メールかFAXにて氏名 現住所 電話・FAX番号 メールアドレス 所属 共通論題、自由論題、大学院生セッションの別、報告タイトル、研究の背景と目的、研究の内容・方法、結論、キーワード3つを必ず明記して、大東文化大学・植野宛にご連絡ください。(用紙はホームページにもあります。)

E-mail : ueno@ic.daito.ac.jp FAX.03-5399-7355(環境創造学科事務室)

7. 大会プログラム(案)

【12月2日(土)】

- 受付 (9:30~)
- 大会開催校挨拶 (9:55~10:00)
- 第1セッション<共通論題報告> (10:00~12:30)
- 昼食 (12:30~13:30)
- 会長挨拶 塩見英治(中央大学教授/学会会長) (13:30~13:40)
- シンポジウム (13:45~16:45)
 - テーマ 「人口減少時代の社会経済システム -国際的視点を念頭に-」
 - 基調講演 (13:45~14:45)
 - パネルディスカッション(14:45~16:45)
- 懇親会 グリーンスポット 会費 5000 円 (17:00~18:30)
- 学長挨拶 和田 守(大東文化大学学長)
- 司会進行 内藤二郎(大会実行委員会副委員長)

【12月3日(日)】

第2セッション(大学院生セッション)	(10:00~12:30)
第3セッション(CIRIEC INTERNATIONAL*)	(10:00~12:30)
昼食(理事会)	(12:30~13:30)
第4セッション(自由論題報告)	(13:30~16:00)
第5セッション(マニフェスト評価機構**)	(13:30~16:00)
総会	(16:00~16:30)

* ヴィクトリア国際大会(2007.10)に向けての準備等を目的としたセッションです。(4.カナダプロジェクト参照)

**本学会の関連団体のコーナーです。

2. 第15回学会賞・第7回尾上賞の公募について

第15回を迎えた学会賞、第7回の尾上賞の公募を下記の規定に基づいて行います。自薦、他薦を問いませんのでふるってご推薦下さい。

対象 学会賞：若手の研究者の学術書・研究書(一般書、新書の類は対象外)。特に年齢制限は設けていませんが、著書等の刊行歴があまりない方を主として対象とします。

尾上賞：既の実績を有する研究者の学術的研究等(学術書、研究書、一般書などの著書、および顕著な学会活動など)。

対象期間 2004年7月1日~2006年6月30日までに公刊された会員による著書等

締め切り 2006年9月30日

宛先 学会事務局まで紙面にてお願いします。また、著書等を1部お送り下さい。

3. 第27回CIRIEC国際大会のおしらせ

次回開催される第27回国際大会は、2008年9月頃スペインのセビリアで開催されます。詳しいことがわかり次第、お知らせします。

4. 国際公共経済学会カナダプロジェクト(CPJC=Canada Project of Japan-Ciriec 仮称)の発足と今後の活動計画について

1. 経過

2006年6月、CIRIEC・イスタンブール大会において、CIRIEC-Canada 支部から2007年10月22-24日に、カナダ・ブリティッシュ・コロンビア州ヴィクトリア市(州都、バンクーバー島にある)で「第1回CIRIEC国際社会的経済会議 コミュニティの強化と形成に向けて 変化する世界における社会的経済の役割」題した国際会議を計画しており、その主催はカナダ社会的経済ハブ、CIRIEC本部、CIRIECカナダが共催してオーガナイズするとの呼びかけがあり、パシフィックを重視しており、BC(ブリティッシュ・コロンビア州)での開催がその証拠だとの説明がありました。日本は、この提案に積極的に対応すべきだと考えて、特にパシフィックに対して貢献できるという旨を、主催者の事務局を担当しているAnnie McKITRIK氏にお伝えし、賛同を得ています。

2. 第1回カナダプロジェクト研究会(2005年7月15日)

CPJCの発足に当たり、国内で進められている研究グループや個人の研究者のリストアップならびに活動状況についての意見交換をしました。若手の研究者で参加可能なテーマを持っている人や

積極的に参加するメンバーのリストアップとネットワーク作りを進めることが提案されました。今後のCIRIEC-JAPANの魅力の一つとして育てるべきだという意見もありました。

研究会の代表を舟場（副会長・CIRIEC担当）として、今後事務局と共に活動推進体制の整備を行なうことにしました。

また、活動をスムーズに進めるために、相互の連絡ネットワークを作り、そのためのメールアドレスの共有を整備することとしました。

*** 第1回世界CIRIEC社会経済的研究大会のテーマとサブテーマは次の通りです。**

（開催日 2007年10月22-23日、カナダBC州ヴィクトリア市エンプレスホテル。）

テーマ：コミュニティの強化と形成に向けて 変化する世界における社会的経済の役割

サブテーマ

- 1、社会的経済 = 制度的見地から
 - ・ 社会的経済のマッピング・内容の把握、評価について
 - ・ 社会的経済の最近の発展の主要傾向：COOPs、非営利、共済、社会企業、コミュニティ企業について、部門別・地域別に検討する
 - ・ 先進国・途上国・辺境経済における主要傾向
- 2、グローバル化に直面する社会的経済
 - ・ 経済と社会の関係に対するユートピアとプラグマティックな代表者
 - ・ 社会的経済と社会運動
 - ・ 社会革新とその制度化
- 3、社会的経済とガバナンス
 - ・ 倫理、社会的責任および社会的経済
 - ・ デモクラシー統治、市民参加および社会的経済の経営
 - ・ 社会的経済運動の構造、地域、全国、国際レベルの連携と連合
- 4、国家の再編に直面する社会的経済
 - ・ 全国及び国際機関（UN, OECD, UNESCO, ILO, 世銀など）との関係
 - ・ 公共政策の進化
 - ・ 公共経済と社会的経済の相互交流

CPJCの活動に興味がある方は、会員・非会員を問わず、推薦される場合も含めて、事務局までメールかファックスでご連絡ください。

副会長・CIRIEC担当 舟場正富